



運動場北側の道路拡張・歩道工事が始まっています。ご注意ください。



令和4年3月4日(金) no.48 文責：上田

まん延防止等重点措置21日まで延長

ニュース等でご存知かと思いますが、熊本県に発令されているまん延防止等重点措置が3月21日(月)春分の日まで再延長されることになりました。新規感染者等は減少傾向にあるものの、依然として高い水準にあることは確かで、感染のリバウンド(再拡大)を防ぐための期間延長の判断です。本校でも1月27日から2月2日までの7日間、そして2月21日・22日の2日間と二度の休校措置を講じることになりましたが、学校再開には慎重であるべきだと考えました。

(看護職の方は)患者さんの感染につながりかねない行動を普段から厳しく制限されている…(営業職の方は)リモートで営業活動をするのが難しい…(欠席連絡の際)家庭に高齢者がいて子どもの発熱をとても心配している…(厚労省「小学校休業等対応助成金」)申請のために学校からの休業通知がほしい…小さい弟妹が感染すると家庭内で分離はできない…などのいろいろな保護者の声を聞くと、まずは学校での感染を防ぐこと、そのための対策の必要を感じます。明日からの週末、家庭での感染対策をお願いします。これまで二度の休校では、週明けから発症までの2日目あるいは3日目に児童の感染確認がありました。不要不急の外出を控える、基本的な感染対策として手洗い・手指消毒、室内の換気などを続けていただくようお願いします。まん延防止等重点措置が再延長されても、私たち一人一人がこれまで同様、感染症対策を継続しなくては、その効果は期待できません。

先日、県下でも5~11歳のワクチン接種が始まったとの報道がありました。西原村では4月上旬から集団接種による接種が始まると聞いています。接種については努力義務規定が適用外、個人の選択とされていますが、接種券が送付される勧奨にはなりません。裏面に厚労省からの関係パンフ「保護者へ」を掲載しています。あくまでも任意接種であることは12歳以上の子どもや大人と同様です。知らずして判断もできないかと思いますので掲載します。

卒業に向けて②

明日5日(土)は、西原中学校の卒業式です。在校生の中学1・2年生は参加しないようで残念です。さて、本校の卒業式も、この数年は1年生から5年生までの在校生の参加はありません。在校生たちは卒業メッセージやビデオを作成し、卒業生への感謝の気持ちを伝えることになっています。

5歳から11歳の方も、新型コロナワクチンを受けられるようになりました。
国内の新型コロナ感染者全体に占める子どもの割合は増えています。
この説明書を読んで、ワクチンを受けるか、お子様と一緒にご検討ください。

○使用するワクチン

ファイザー社の5～11歳用のワクチンを使用します。子ども用のワクチンです(※)。
通常、3週間の間隔をあけて、合計2回接種します。
(※)ファイザー社の12歳以上のものに比べ、有効成分が1/3になっています。

○接種の対象

- 5歳から11歳の方
 - 特に、慢性呼吸器疾患、先天性心疾患など、重症化リスクの高い基礎疾患(※)を有するお子様は接種をおすすめしています。接種にあたっては、あらかじめかかりつけ医などによく相談してください。
- (※)日本小児科学会では、新型コロナウイルス感染症の重症化リスクが高い疾患の一覧等を公表しています。
日本小児科学会「新型コロナウイルス関連情報」
URL: https://www.jpeds.or.jp/modules/activity/index.php?content_id=333



新型コロナワクチンの効果

Q.新型コロナワクチンは、どんな効果がありますか？

A.新型コロナワクチンを受けることで、新型コロナに感染しても症状が出にくくなります。

ワクチンを受けると、体の中で新型コロナと戦う仕組み(免疫)ができます。ウイルスが体に入ってきた時に、すぐ戦える準備ができますので、新型コロナの症状が出にくくなります。5～11歳における2回接種後7日以降の発症予防効果は、90.7%と報告されています(※)。

(※)オミクロン株が出現する前のデータです。

出典:特例承認に係る報告書より

新型コロナワクチンの安全性

Q.子どもが新型コロナワクチンを受けた後は、どんな症状が出ますか？

A.注射した部分の痛みが一番多く現れます。

ワクチンを受けた後、数日以内に現れる症状は、注射した部分の痛みが一番多く、1回目で74%、2回目で71%でした。注射を受けたすぐ後よりも、受けた日の夜や次の日に痛みを感じる人が多いです。疲れた感じや発熱などは、1回目よりも2回目の後の方が多く現れ、38℃以上の発熱は1回目で2.5%、2回目で6.5%でした。ワクチンを受けた後の症状は、ほとんどが軽度または中等度であり、現時点で得られている情報からは、安全性に重大な懸念は認められないと判断されています。

■数日以内に起こることがある症状

症状が出た人の割合	症状
50%以上	注射した部分の痛み、疲れた感じ
10～50%	頭痛、注射した部分の赤み・はれ、筋肉痛、寒気
1～10%	下痢、発熱、関節痛、嘔吐

出典:特例承認に係る報告書より

Q.若い男子ほど接種後に心筋炎を発症しやすいと聞きますが、子どもはどうでしょうか？

A.米国では、12～17歳男子に比べ5～11歳男子の方が、心筋炎が報告される割合が低いとされています。

ごくまれですが、海外では子どもでも軽症の心筋炎を発症した例が報告されています。

米国では、新型コロナワクチン接種後の心筋炎の報告率は、5～11歳の男子の方が12～15歳や16～17歳の男子より低いとされています。

ワクチン接種後4日程度の間にお子様にも胸の痛み、動悸、息切れ、むくみなどの症状がみられた場合は、速やかに医療機関を受診して、ワクチンを受けたことを伝えてください。

なお、心筋炎と診断された場合は、一般的には入院が必要となりますが、多くは安静によって自然回復します。

出典:2022.1.5 ACIP Meeting